

首都圏への特産品販路拡大

予算額 **585万9千円**

継続

たるみず特産品販路拡大支援事業

目的

585万9千円／水産商工観光課

首都圏における水産物・特産品のPR
および販路拡大

首都圏の企業と連携し、本市の水産物・特産品等の
PR・販売を行う

※実施時期はお中元（7月）お歳暮（12月）時期を予定



未来農業の創生

予算額 **627万4千円**

新規

新規就農支援事業

目的

124万8千円／農林課

農業の担い手の育成・確保

- ① 就農前研修受入事業補助金
- ② 指導農業士現地派遣事業

新規

収入保険制度支援対策事業

目的

50万円／農林課

被災しても営農継続可能な体制

大型台風等で被災しても継続して営農するため、
収入保険への加入促進を図る

継続

機構集積支援事業

目的

452万6千円／農業委員会

農地の集約・集積

宮前地区等の農地集約・集積を図り、
担い手の農業生産性の向上を図る

経済への挑戦ー主な関連事業を紹介ー

Challenge 経済

食材の良さを新鮮さをPRし、新規取引機会の創出や、安定した継続的取引に繋がるよう取り組みます。また、新型コロナウイルス収束後の状況を踏まえ、お中元・お歳暮のギフトシーズンに、垂水市漁協・牛根漁協を含めた垂水市内の事業所による特産品の販売による美食体験を実施するなど、より効果的な特産品の販売促進、販路拡大に努めてまいります。

販路拡大

たるみず特産品販路拡大支援事業は、これまで実施して得られた実績の分析・検証を基に、首都圏の企業と連携し、特産品の販売等を実施するものです。

地集積協議会による農地集積を支援する事業でございます。鹿児島県農地中間管理機構等と連携し、圃場整備の実現と、担い手の農業生産性の向上に努めてまいります。

機構集積

機構集積支援事業は、昨年12月に設立された、担い手への農地集積と農業生産性の向上を目的とした、宮前地区農

また、すべての農産物を対象に自然災害等の様々なりスクに対し、「収入保険制度支援対策事業」にも取り組みます。

その意見を反映し、令和3年度は、次世代を担う農業者の育成に向け「就農前研修受入事業」を創設いたします。さらに、就農後の継続支援として、「指導農業士現地派遣事業」を創設いたします。

未来農業創生 人口減少により担い手が年々減少し、将来的な荒廃農地化や農業の衰退などが問題となっています。諸問題の解決のため、令和2年度に「垂水市農業創生未来会議」を設置し、市民の意見を反映した農業施策について協議を行ってまいりました。